令和８年度 教育活動アンケート（前期）の結果から

保護者の皆様におかれましては，平素より本校の教育に際し，御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

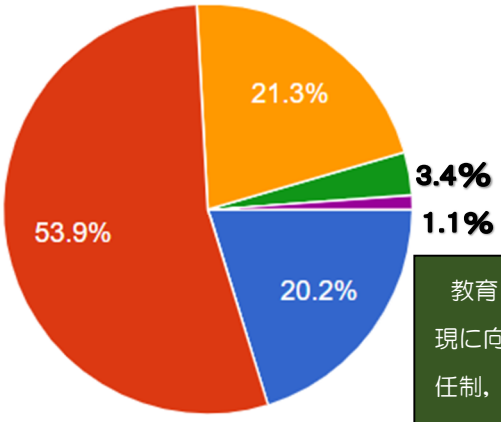
さて，過日御協力いただきました「教育活動アンケート」につきまして，全体の集計結果（回答数８９件）をお知らせするとともに，お寄せいただいた御意見に対しての学校の見解をお伝えします。

質問１　お子さんは、学習内容をきちんと理解していますか？

89 件の回答

評価平均 3.9





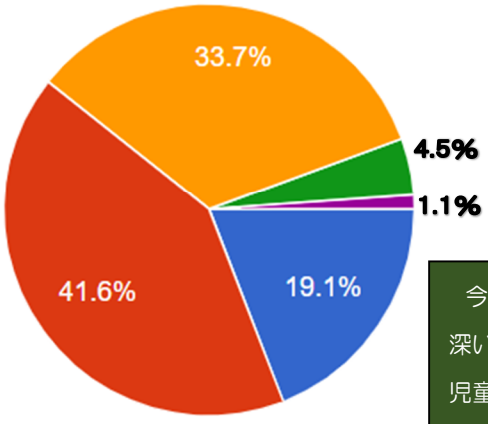
教育目標「柱１：学びに TRY する学校」の実現に向け，今後も専科指導（高学年）や教科担任制，学年内の交換授業の一層の充実を図り，学習指導要領の主旨に沿った授業改善を行いながら，知識・技能の確実な定着を目指してまいります。

質問２　お子さんは、わからないことやもっと知りたいことがあった時に、自分から調べたり、他の人に尋ねたりして学びを深めようとしていますか？

89 件の回答

評価平均 3.7





今後より一層「主体的・対話的な学習活動」を増やし，深い学びにつながるよう授業の進め方を工夫しながら，児童が自ら課題解決に向けて取り組めるように進めてまいります。

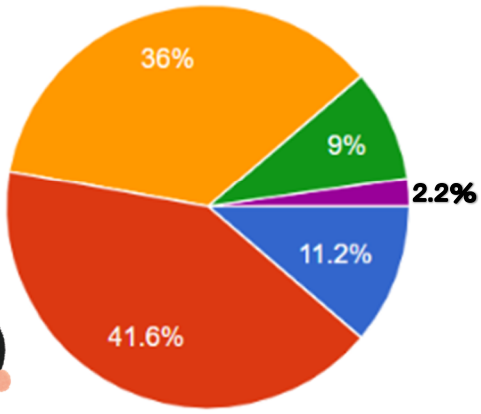
また，タブレットについても，より効果的で自主的な活用ができるよう，学校全体で取り組んでいきます。

質問３　お子さんは、自分の考えや伝えたいことを、きちんとした言葉で相手に伝えたり、文章にして書いたりすることができるようになってきましたか？

89 件の回答

評価平均
3.5





本校の児童が苦手としている，「条件つき作文」や「要約」，「資料のまとめ」等にも学校全体で取り組み，苦手克服に努めるとともに，自分の考えなどを言葉を整理しながら書いたり話したりすることができるよう，授業の中でも取り組んでいきます。

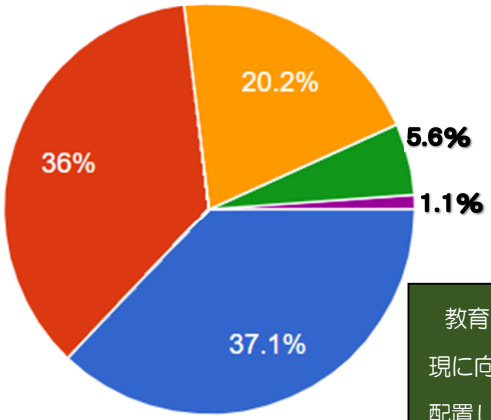
また、外部から読み聞かせをしてくださる方を招聘し、児童の読書活動が活発になるような取組も進めてまいります。

質問４　お子さんは、体をよく動かし、体力をつけていますか？

89 件の回答

評価平均
4.0





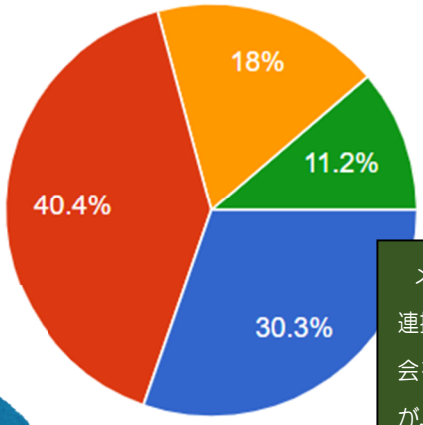
教育目標「柱２：体づくりに TRY する学校」の実現に向け，昨年度より「体育エキスパート教員」を配置し、運動が苦手な子でも楽しく取り組めるように、逆に得意な子が自分のスキルをどんどん伸ばしていけるように授業改善を行っております。

また，運動会やランニングトライ記録会，遠足等の行事を通じて児童の体力向上に努めるとともに、全学年で取り組んでいる「新体力テスト」が子ども達の励みとなるよう，考察をしっかりと行い，掲示板を活用した結果の公表などに取り組んでいます。

質問５　お子さんは、生活リズムに気をつけ、規則正しい健康的な生活を送っていますか？

89 件の回答

評価平均
3.9





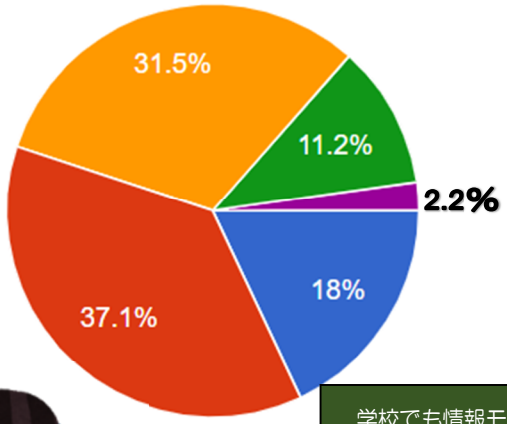
メディア依存の防止も含め，上中校区の他の学校とも連携しながら，自ら生活リズムを整え，運動に親しむ機会を持つことができるよう引き続き指導していきますが，保護者の方の御理解と御協力も不可欠です。

毎年の調査でも，朝ごはんをしっかり食べている児童の方が学力が高い傾向にある一方で，生活リズムの乱れが登校渋りや不登校につながることもあります。「はやね・はやおき・あさごはん」が日常となるよう，御協力をお願いいたします。

質問６　お子さんは、テレビやゲーム、動画などの視聴時間に気をつけるとともに、SNSなどの利用にも注意を払っていますか？

89 件の回答

評価平均
3.6





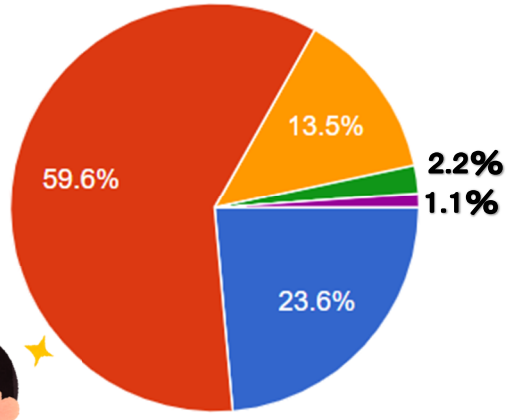
学校でも情報モラルや SNS の利用については危機感をもっており、今年度３年生以上の学年で外部講師（警察や上磯中学校の生徒指導担当）に来てもらい、講座を開きました。ただ、テレビやゲーム，動画視聴や SNS 利用については各御家庭にお願いし、ご指導いただかなければならないのが現状です。

結果からは、半数以上が注意を払っているとなっていますが，今一度お子さんと使い方や使用時間についてお話をしてみるきっかけにしていただければと思います。

質問７　お子さんは、周りの友達に優しい気持ちで接し、仲良くしたり遊んだりしていますか？

89 件の回答

評価平均
4.0





友達との関わり方が上手でなく、友達に対して乱暴な言葉遣いをしたり，すぐにもめごとになって手が出てしまったり，何か問題が生じた時に話し合って上手に解決できない子が年々増えてきています。

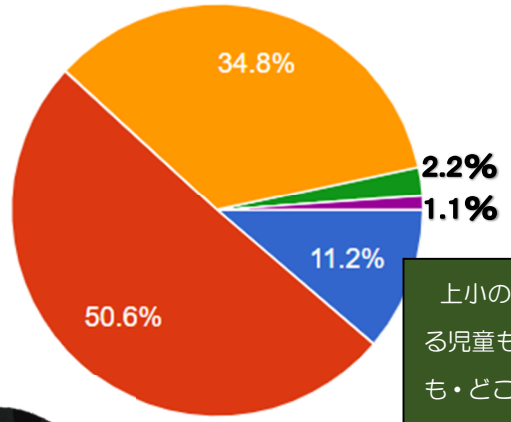
学校では教科の学習ももちろん大切ですが、多くの人と生活する中で必要とされる社会性や協調性も学んでほしいと考えています。

学校行事や授業等を通じて，異学年の人や今まであまり関わりの無かった人とも交流し，より良い社会性を身につけていけるようにしていきます。

質問８　お子さんは、自分から進んで挨拶をしたり、礼儀正しい行動がとれたりしていますか？

89 件の回答

評価平均
3.7





上小の児童は，人なつっこく，自分から話しかける児童も多いですが、上小がめざしている「いつでも・どこでも・だれにでも」のあいさつは、まだ十分とは言えません。

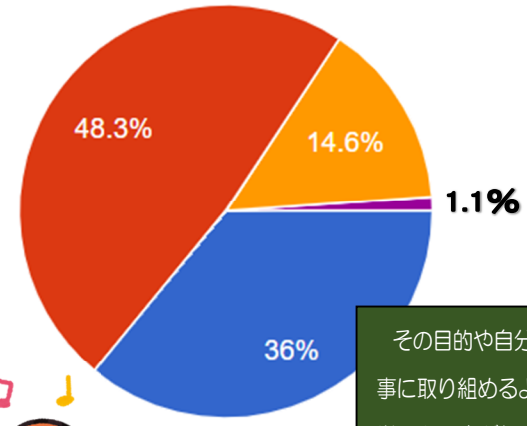
一方で，目上の人に対しても友だちと同じような感覚で接したり丁寧な言葉遣いができなかったりなど，これからしっかりと礼儀等を身につけていかなければならない児童が多いのも現状です。

教育目標「柱３：心づくりに TRY する学校」の実現に向け，『時と場合に応じた挨拶の励行と言葉遣い』について，いろいろな機会を利用しながら引き続き指導を重ねていきます。

質問９　お子さんは、学校行事の時に、自分なりに頑張ることを決めて取り組むことができていますか？

89 件の回答

評価平均
4.2





その目的や自分の目標を明確に意識し，児童が主体的に学習や行事に取り組めるよう，学習の到達目標を教師が示したり，行事の運営にも児童が加われるような計画を立てたりしながら，自主性を育んでいきます。

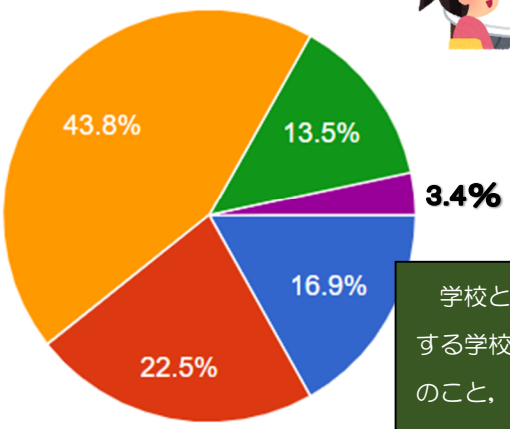
さらに，コロナ禍後、新しい学校行事の形が求められています。児童会が自主的に企画・運営する行事等も積極的に行いながら，自己肯定感等も高めていきます。

質問１０　お子さんは、普段から地域の方と関りをもったり、地域の行事に参加したりしていますか？

89 件の回答



評価平均
3.4



コミュニティースクールとは…

正式名称を上磯小学校運営協議会（通称：CS いそっこ）と言い、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく制度のことです。

夜間学校やクリスマスコンサートも、このCS主催で行っており、特設授業にも協力していただいています。

学校としても教育目標「柱４：つながりに TRY する学校」の実現に向け，平常の授業はもちろんのこと，行事等も活用しながら，積極的に街へ出ての学習を行ったり，学校評議員会や PTA の協力を得て，外部講師による授業を積極的に行ったりしています。

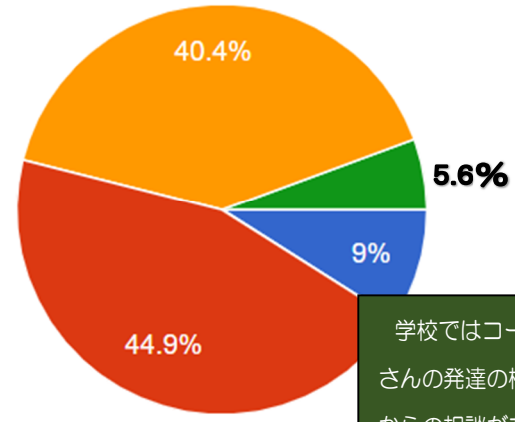
また，コロナ禍の時に中断していた高齢者との交流や幼児との関りも再開しています。

引き続き，関係各機関とも協力しながら，上小がコミュニティースクールとしての役割を果たしていけるように努めていきます。

質問１１　学校は、お子さんに不安なことや困ったことがあった時に、相談できる場になっていますか？

89 件の回答

評価平均
3.6





学校ではコーディネーターとなる教員を３名配置し，お子さんの発達の様子で心配なことがあった場合や，保護者の方からの相談があった場合にすぐ対応できる体制を整えています。

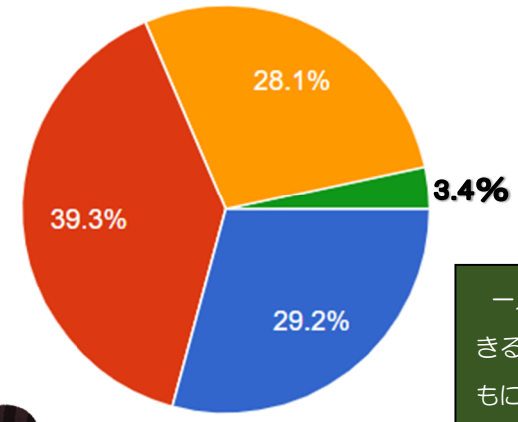
また本校では，「ことばとまなびの教室」を開設しており，発達特性に応じた指導・支援をする場として，他校も含めて多くの保護者や児童に活用していただいています。

ただ，アンケート結果を見ると，学校が相談できる場になっていないと感じている保護者の方もいらっしゃいますので、今後も外部の専門家等とも連携し，子育てや児童の発達について，教職員と保護者の方が共に考えていける場となるよう努力していきます。

質問１２　学校や学級は、お子さんが学習したり生活したりする上で、満足できる場となっていますか？

89 件の回答

評価平均
3.9





一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できるような授業づくりにこれからも励むとともに，授業以外の部分でもその子の良さが認められ，自己有用感や自己肯定感が高められるように全教職員で改善を図っていきます。

保護者の皆様からいただいたご意見・ご感想等

アンケートに際しまして，たくさんの保護者の方からご意見・ご感想をいただきました。普段我々教職員が見ることができない，ご家庭でのお子様の様子を教えてくださる方も多く，今後の支援・指導に役立つ部分も多くありました。

全ての投稿を載せることはできませんが，いただいたご意見ご感想につきましては，全教職員が全てに目を通し，授業改善や学校改善，学校行事の起案等の参考とさせていただきます。

以下，いくつかのご意見（一部抜粋あり）を紹介させていただき，学校として回答させていただきます。

漢字が苦手なようで，家でも特訓させます。宿題もほとんどが紙で出ているので有難いです。やはり，タブレットよりも紙の宿題の方が身になっているように思います。

⇒　学習の基礎となる「文字の読み書き」や「数の概念」などはとても重要であり，学校としても『誰一人取り残さない』を合言葉に，しっかり定着させられるように指導していますが，授業時間だけの学習では十分ではないお子さんもやはりいらっしゃいます。

２年生で学習するかけ算の九九や４年生で学習する都道府県名，各学年の漢字の書き取りや計算練習などは特に，学校での学習だけでは足りず，ご家庭での練習がどうしても必要になってきます。

学校としては，低学年の反復練習などを伴う学習は紙での作業を多くし，高学年の思考を重視する学習にはタブレットの活用を多くして…と考えていますが，児童一人ひとりの状況（特性）やそれぞれの課題の出し方には一長一短もありますので，一概にどちらが良いということは言えません。しかしながら，学習内容の定着度は，以後の学習に対する意欲や理解度にも影響すると考えておりますので，各ご家庭には負担をお掛けして申し訳ありませんが，鉛筆の持ち方なども含めてお家でも取り組んでいただけると大変ありがたいです。

尚，ICT 端末を活用した家庭学習に関する資料（道教委発行）のリンクを貼っておきますのでそちらもご参照ください。

http://www.curricen2.hokkaido-c.ed.jp/dokyoi/gakuryokukojo/tebiki_ICTkatuyo_katei.pdf

子供の事ではなく申し訳ありません。６月の朝に発生した地震の事について意見させてください。朝の７時半，登校前の地震で登校させてもいいのか，わからないまま登校させました。学校からメールきたのが ８ 時頃で，地震発生時からメールが届くまで少し時間がかかった印象です。先生方も対応に追われたり忙しかったと思います。ですがすぐに判断出来かねない場合でも，「只今状況確認中です。」や，「学校からメールあるまで自宅待機でお願いします。」等，学校からのアクションがほしかったです。こちら側は他の保護者に登校させていいんだよね？と聞いたり学校からメール来ない分親としてはどうしたらいいのか分からなかった状況でした。これからいつ自然災害が起きるか分からないので，出来ることならもう少し早めに連絡頂けると有り難いです。長々申し訳ございません。

⇒　当日の連絡が遅くなり，ご心配をおかけしたことに対し，学校としてまずはお詫び申し上げます。

当然のことですが，学校として災害発生時に最優先するのが児童の身の安全です。そのため，学校では年に複数回の避難訓練や一日防災学校等を実施して，「自分の身は自分で守る」というスローガンのもと，災害の恐ろしさや自分がどう行動したらよいかについて学習しています。

災害が発生した（予想される）場合について，現在学校では近隣の学校とも情報共有したり，市の教育委員会や防災担当とも連絡を取り合ったりしながら対応を決めているところですが，保護者の方のおっしゃる通り，その間も不安でどうしたらよいか迷ってらっしゃる方もおり

ます。今回の様な登校前に地震が発生した場合（津波の心配がある場合）などには，できるだけ早く何らかの連絡をメールで配信したいと考えていますが，お子さんの安全を第一に考え，ご家庭で判断・行動していただく場合もあるかと思います。

また，本校教職員の勤務時間外に生じる不測の事態に備え，教職員間でも速やかに連絡が取れるよう，個人の携帯電話・スマートフォンに全教職員共通のアプリを入れることとなりました。そういったものも活用しながら，児童の安心・安全を第一に学校運営を進めてまいります。

６年生になって学校に行きたくないと言う事がほとんど無くなり気持ちも落ち着いてきたように思います。先生達が見守ってくださっていること，とても有り難く思っています。また自学のコメントを楽しみにしていて，毎日頑張ると言っています。大変だとは思いますが，これからも続けて頂けたら有難いです。

⇒　学校の役割は，学力を身に付けさせること，友だちや教職員との関わりの中で社会性を養うこと等がありますが，まず学校が安心して生活できる場になっていないと，そのどれもがうまくいきません。

今年度の本校の取組が，お子さんの安定した学校生活に寄与できているとしたら，学校としてこんなに嬉しいことはありません。

また，自学のコメントについてですが，自学ノートや学習プリントについては，各担任が間違いなくしっかりと目を通しておりますが，超過勤務を少しでも減らす目的で，基本的には検印のみとさせていただくこととしています。ただ，それでは子どもたちのやる気にも影響が出ますので，年に４回ですが「上中校区家庭学習パワーアップ期間」には，しっかりと担任からのコメントがやる気につながるよう取り組んでおります。

この点につきましては，大変心苦しいのですがご理解いただければと思います。

前期の間，小学校の皆様にはお世話になりました。学校生活の中で些細なことでも連絡をしてもらえて親として安心しておりました。次学期もよろしくお願いします。

⇒　子どもたちが集団で生活している学校では，お子さんのことで相談したいことや，友達とのトラブルも起こります。成長途中の子どもたちが，より良い人間関係を築いたり，社会のルールやマナーを覚えたりしていく過程では，学校と家庭が連携して子どもたちを見守り，指導し，成長させていくことが必要です。

学校としては，保護者の方と担任（学校）がいつでも気軽に何でも話し合える関係となり，普段から情報を共有し，一緒に対応できるような関係作りが大切だと考えておりますので，個人懇談や参観日・PTA 活動や行事等の折を見て，担任と関わる時間を作っていただければと思います。



困った事やわからない事があっても，先生に伝えられない時があるそうです。

⇒　日々，目まぐるしく生活している学校の中であっても，授業中はもちろんのこと，休み時間などにも子どもたちに気を配っているつもりでしたが，困っているときになかなか言い出せなかったり，相談できなかったりしていた児童に気づいてあげることができず，本当に申し訳なく感じています。

今後，より一層話しやすい雰囲気の学級作りに努めてまいりますが，学級で話しにくい場合には，近くにいる支援員や他の教員，保健室等でも構いませんので，遠慮せずに困っていることを伝えてもいいということをお家でもお話しください。

お忙しい中，アンケートに御協力いただき本当にありがとうございました。
また，６年生のアンケート画面に不備があり，大変ご迷惑をお掛けいたしました。
12 月にもアンケート（後期分）を実施しますので，またご協力をお願いいたします。

上磯小学校